

ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり)

運用報告書(全体版)

第30期(決算日 2023年3月9日)
第31期(決算日 2023年6月9日)
(作成対象期間 2022年12月10日～2023年6月9日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／その他資産（ハイブリッド証券）		
信 託 期 間	2015年8月27日～2025年6月9日		
運 用 方 針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベ ビ ー フ ァ ン ド	ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンドの受益証券	
	ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド	世界の事業会社が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券）	
組 入 制 限	ベビーファンドのマザーファンド組 入 上 限 比 率	無制限	
	ベ ビ ー フ ァ ン ド の 株 式 実 質 組 入 上 限 比 率		
	マ ザ ー フ ァ ン ド の 株 式 組 入 上 限 比 率		
分 配 方 針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、経費控除後の配当等収益等を中心に分配することをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界のハイブリッド証券等に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近10期の運用実績

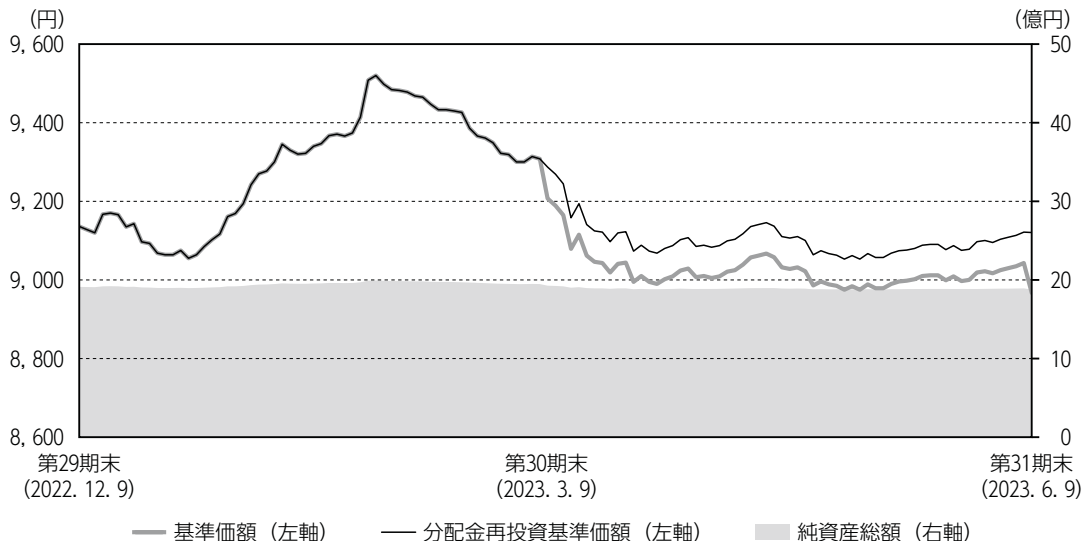
決 算 期	基 準 価 額			公 社 債 組 入 比 率	純 資 産 額
	(分 配 落)	税 分 配 込 金	期 騰 落 中 率		
	円	円	%	%	百万円
22期末（2021年3月9日）	11,070	35	△ 0.7	97.4	2,349
23期末（2021年6月9日）	11,272	30	2.1	92.2	2,391
24期末（2021年9月9日）	11,372	30	1.2	92.9	2,413
25期末（2021年12月9日）	11,227	35	△ 1.0	92.4	2,382
26期末（2022年3月9日）	10,580	55	△ 5.3	89.1	2,245
27期末（2022年6月9日）	9,997	115	△ 4.4	99.7	2,092
28期末（2022年9月9日）	9,632	75	△ 2.9	94.5	2,016
29期末（2022年12月9日）	9,136	75	△ 4.4	89.7	1,912
30期末（2023年3月9日）	9,207	80	1.7	97.6	1,927
31期末（2023年6月9日）	8,967	75	△ 1.8	95.9	1,876

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注2) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注3) 公社債組入比率はハイブリッド証券（劣後債、優先証券）を含みます。
(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
(注5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



（注）分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

第30期首：9,136円

第31期末：8,967円（既払分配金155円）

騰落率：△0.2%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

コーポレート・ハイブリッド証券市況が上昇したことはプラス要因となりましたが、欧米各国の中央銀行が大幅な利上げを実施したことによる為替ヘッジコストの上昇が重しとなり、基準価額はおおむね横ばいとなりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）

	年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
			騰 落 率	
第30期		円	%	%
	(期 首) 2022年12月 9 日	9,136	—	89.7
	12月末	9,064	△ 0.8	87.3
	2023年 1 月末	9,366	2.5	90.9
	2 月末	9,349	2.3	93.5
第31期	(期 末) 2023年 3 月 9 日	9,287	1.7	97.6
	(期 首) 2023年 3 月 9 日	9,207	—	97.6
	3 月末	9,002	△ 2.2	97.4
	4 月末	8,996	△ 2.3	97.2
	5 月末	9,019	△ 2.0	95.2
	(期 末) 2023年 6 月 9 日	9,042	△ 1.8	95.9

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2022. 12. 10 ～ 2023. 6. 9）

■コーポレート・ハイブリッド証券市況

コーポレート・ハイブリッド証券市況は上昇しました。

コーポレート・ハイブリッド証券市況は、米国の景況感や企業業績の悪化懸念などを受けて、当作成期首から2022年12月末にかけて小幅に下落しました。2023年に入ると、賃金上昇率の鈍化でF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースが減速するとの期待などから上昇しました。2月から3月半ばにかけては、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国地方銀行の経営破綻、欧州金融機関の経営危機を受けて下落しましたが、その後は、F R Bによる緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感されて上昇に転じました。4月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題などが重しとなりましたが、おおむね底堅い推移で当作成期末を迎えました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド」の受益証券に投資を行い、組入比率は高位を維持します。また、為替変動リスクの低減のため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド

引き続き、世界の事業会社が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・ユー・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

ポートフォリオについて

（2022. 12. 10 ～ 2023. 6. 9）

■当ファンド

「ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位に維持しました。また、為替変動リスクの低減のため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド

主として、世界の事業会社が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・ＵＫ・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の１万口当り分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（１万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（１万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（１万口当り）

項 目	第30期		第31期	
	2022年12月10日 ～2023年３月９日		2023年３月10日 ～2023年６月９日	
当期分配金(税込み) (円)	80		75	
対基準価額比率 (%)	0.86		0.83	
当期の収益 (円)	80		75	
当期の収益以外 (円)	—		—	
翌期繰越分配対象額 (円)	1,657		1,666	

- (注１) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注２) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注３) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。
- (注４) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第30期	第31期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 86.51円	✓ 84.87円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	139.87	139.87
(d) 分配準備積立金	1,510.69	1,517.21
(e) 当期分配対象額（a + b + c + d）	1,737.09	1,741.96
(f) 分配金	80.00	75.00
(g) 翌期繰越分配対象額（e - f）	1,657.09	1,666.96

(注) ✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド」の受益証券に投資を行い、組入比率は高位を維持します。また、為替変動リスクの低減のため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド

引き続き、世界の事業会社が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・UK・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

1 万口当りの費用の明細

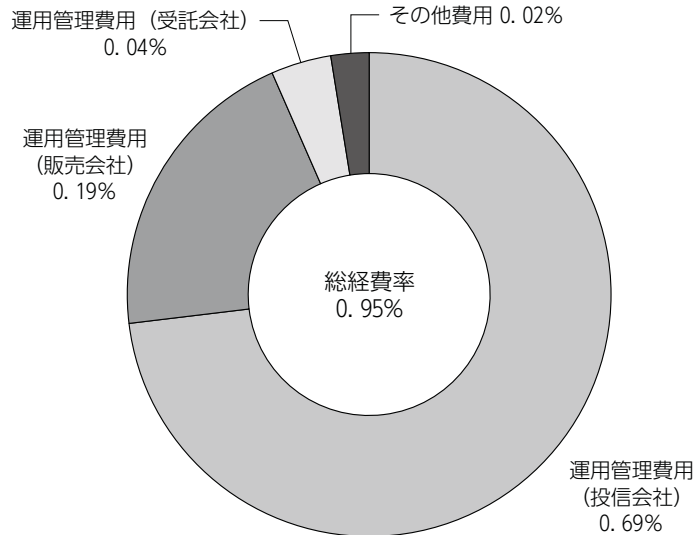
項 目	第30期～第31期 (2022. 12. 10～2023. 6. 9)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	42円	0. 460%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,153円です。
(投 信 会 社)	(32)	(0. 345)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(9)	(0. 096)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0. 019)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0. 012	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0. 007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	43	0. 472	

- (注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。
- (注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。
- (注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.95%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況
 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2022年12月10日から2023年 6 月 9 日まで)

決 算 期	第 30 期 ～ 第 31 期			
	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド	74,527	90,000	161,958	206,000

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
 親投資信託残高

種 類	第 29 期 末	第 31 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド	1,526,903	1,439,473	1,870,451

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年 6 月 9 日現在

項 目	第 31 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド	1,870,451	97.9
コール・ローン等、その他	40,233	2.1
投資信託財産総額	1,910,685	100.0

(注 1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注 2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6 月 9 日における邦貨換算レートは、1 アメリカ・ドル＝139.15 円、1 イギリス・ポンド＝174.69 円、1 スウェーデン・クローネ＝12.87 円、1 ユーロ＝150.00 円です。

(注 3) ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンドにおいて、第 31 期末における外貨建純資産 (1,869,711 千円) の投資信託財産総額 (1,870,442 千円) に対する比率は、100.0％です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年 3 月 9 日)、(2023年 6 月 9 日) 現在

項 目	第30期末	第31期末
(A) 資産	3,895,751,921円	3,748,720,791円
コール・ローン等	83,478,643	40,233,930
ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド（評価額）	1,963,163,115	1,870,451,431
未収入金	1,849,110,163	1,838,035,430
(B) 負債	1,968,601,415	1,871,747,226
未払金	1,947,393,308	1,851,582,198
未払収益分配金	16,745,501	15,698,908
未払信託報酬	4,423,155	4,387,541
その他未払費用	39,451	78,579
(C) 純資産総額（A－B）	1,927,150,506	1,876,973,565
元本	2,093,187,749	2,093,187,749
次期繰越損益金	△ 166,037,243	△ 216,214,184
(D) 受益権総口数	2,093,187,749口	2,093,187,749口
1 万口当り基準価額（C/D）	9,207円	8,967円

＊当作成期首における元本額は2,093,187,749円、当作成期間（第30期～第31期）中における追加設定元本額は 0 円、同解約元本額は 0 円です。

＊第31期末の計算口数当りの純資産額は8,967円です。

＊第31期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は216,214,184円です。

■損益の状況

	第30期 第31期	自2022年12月10日 自2023年 3 月10日	至2023年 3 月 9 日 至2023年 6 月 9 日
項 目	第30期	第31期	
(A) 配当等収益	△	1,627円	△ 2,071円
受取利息		6	1
支払利息	△	1,633	△ 2,072
(B) 有価証券売買損益		35,993,290	△ 30,042,922
売買益		142,949,383	147,683,486
売買損	△	106,956,093	△ 177,726,408
(C) 信託報酬等	△	4,466,570	△ 4,433,040
(D) 当期損益金（A＋B＋C）		31,525,093	△ 34,478,033
(E) 前期繰越損益金	△	180,168,522	△ 165,388,930
(F) 追加信託差損益金		648,313	△ 648,313
(配当等相当額)	(	29,278,792)	(29,278,792)
(売買損益相当額)	(△	29,927,105)	(△ 29,927,105)
(G) 合計（D＋E＋F）	△	149,291,742	△ 200,515,276
(H) 収益分配金	△	16,745,501	△ 15,698,908
次期繰越損益金（G＋H）	△	166,037,243	△ 216,214,184
追加信託差損益金	△	648,313	△ 648,313
(配当等相当額)	(	29,278,792)	(29,278,792)
(売買損益相当額)	(△	29,927,105)	(△ 29,927,105)
分配準備積立金		317,581,296	319,648,662
繰越損益金	△	482,970,226	△ 535,214,533

(注 1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注 2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注 3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

(注 4) 投資信託財産（親投資信託）の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用：3,629,287円（未監査）

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第30期	第31期
(a) 経費控除後の配当等収益	18,110,122円	17,766,274円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	29,278,792	29,278,792
(d) 分配準備積立金	316,216,675	317,581,296
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	363,605,589	364,626,362
(f) 分配金	16,745,501	15,698,908
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	346,860,088	348,927,454
(h) 受益権総口数	2,093,187,749口	2,093,187,749口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ		
1 万 口 当 り 分 配 金 （ 税 込 み ）	第 30 期	第 31 期
	80円	75円

●＜分配金再投資コース＞をご利用の方の税引き分配金は、決算日現在の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

・ 分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
・ 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
・ 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
・ 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド

運用報告書 第8期（決算日 2023年6月9日）

（作成対象期間 2022年6月10日～2023年6月9日）

ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

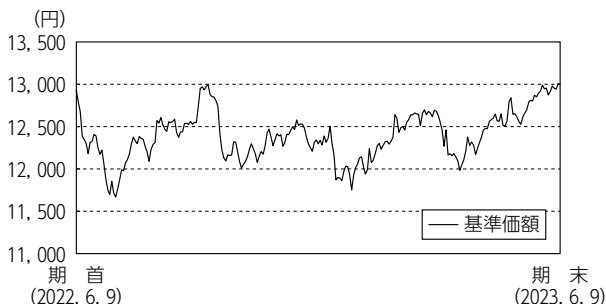
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	世界の事業会社が発行するハイブリッド証券（劣後債および優先証券）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
	円	%	%
(期 首) 2022年 6 月 9 日	12,928	—	96.3
6 月末	11,882	△ 8.1	95.5
7 月末	12,263	△ 5.1	95.3
8 月末	12,525	△ 3.1	92.9
9 月末	12,165	△ 5.9	91.5
10 月末	12,427	△ 3.9	94.9
11 月末	12,374	△ 4.3	91.2
12 月末	11,931	△ 7.7	90.9
2023年 1 月末	12,328	△ 4.6	90.3
2 月末	12,698	△ 1.8	90.0
3 月末	12,377	△ 4.3	95.4
4 月末	12,564	△ 2.8	97.5
5 月末	12,955	0.2	95.1
(期 末) 2023年 6 月 9 日	12,994	0.5	96.2

- (注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入率はハイブリッド証券（劣後債、優先証券）を含みます。
 (注3) 公社債組入率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。
 (注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：12,928円 期末：12,994円 騰落率：0.5%

【基準価額の主な変動要因】

コーポレート・ハイブリッド証券市況が下落したことはマイナス要因となったものの、ユーロの対円為替相場が上昇（円安）したことより、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○コーポレート・ハイブリッド証券市況

コーポレート・ハイブリッド証券市況は下落しました。

コーポレート・ハイブリッド証券市況は、金融引き締めによる世界的な景気悪化が意識され、当作成期首から2022年6月末にかけて下落しました。その後、インフレ率がピークアウトするとの期待感などを背景に、2022年8月中旬にかけて上昇しました。10月半ばごろにかけては、予想以上のインフレ率の上昇や英国の財政悪化懸念などで欧米の金利が上昇したことなどが嫌気されて下落しました。11月末にかけては、英国市場の混乱が収束して欧米の金利上昇が一服したことや米国のインフレ率が予想を下回ったことなどが好感され、上昇しました。年末にかけては、米国の景況感や企業業績の悪化懸念などから小幅に下落しましたが、2023年に入ると、賃金上昇率の鈍化でF R B（米国連邦準備制度理事会）の利上げペースが減速するとの期待などから上昇しました。2月から3月半ばにかけては、予想を上回る経済指標の発表が相次ぎ金利が上昇したことや、米国地方銀行の経営破綻、欧州金融機関の経営危機を受けて下落しましたが、その後は、F R Bによる緊急融資枠の新設で資金繰り懸念が後退したことなどが好感されて上昇に転じました。4月以降は、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題などが重なりましたが、おおむね底堅い推移で当作成期末を迎えました。

○為替相場

ユーロ円為替相場は上昇しました。

ユーロの対円為替相場は、ユーロ圏の軟調な経済統計や景気後退への懸念を背景に、当作成期首から2022年8月下旬にかけて下落しました。その後10月にかけて、日本政府・日銀による円買い介入が短期的には下落圧力となったものの、E C B（欧州中央銀行）のタカ派姿勢の強まりや英国の財政政策をめぐる市場の混乱が沈静化に向かい、投資家のリスク選好姿勢が高まったことでユーロは対円で上昇しました。11月以降はE C Bの利上げ見通しが後退したことに加え、12月に日銀が想定外の政策修正を行ったことで金融緩和政策の転換などが意識され、日本の長期金利が大きく上昇するとともに円高ユーロ安が進行しました。2023年に入ってから、米国の地方銀行の経営破綻を受けて信用不安が高まり、円高が進行する場面も見られましたが、主に日欧の金融政策の方向性の違いが意識される中で、円安ユーロ高基調となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

引き続き、世界の事業会社が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・U K・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

◆ポートフォリオについて

主として、世界の事業会社が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いました。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・U K・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

引き続き、世界の事業会社が発行するハイブリッド証券等に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。外貨建資産の運用にあたっては、アムンディ・U K・リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。

■ 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	2 (2) (0)
合 計	2

(注 1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
(注 2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2022年 6 月10日から2023年 6 月 9 日まで)

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	社債券	千アメリカ・ドル —	千アメリカ・ドル 1,114 (408)
	イギリス	社債券	千イギリス・ポンド —	千イギリス・ポンド 115 (—)
	ユーロ (オランダ)	社債券	千ユーロ 435	千ユーロ 367 (—)
	ユーロ (フランス)	社債券	千ユーロ 1,175	千ユーロ 635 (—)
	ユーロ (その他)	社債券	千ユーロ —	千ユーロ 287 (—)
	ユーロ (ユーロ通貨計)	社債券	千ユーロ 1,611	千ユーロ 1,290 (—)

(注 1) 金額は受渡し代金 (経過利子分は含まれておりません)。
(注 2) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
(注 3) 社債券には新株予約権付社債券 (転換社債券) は含まれておりません。
(注 4) 単位未満は切捨て。

■ 主要な売買銘柄

公 社 債

(2022年 6 月10日から2023年 6 月 9 日まで)

当 期		期	
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
TOTAL SE (フランス) - floating - 永久債	千円 97,161	UNIBAIL-RODAMCO SE (フランス) - floating - 永久債	千円 64,790
ELECTRICITE DE FRANCE SA (フランス) - floating - 永久債	69,137	Enel SpA (イタリア) - floating - 2073/9/24	57,579
REPSOL INTERNATIONAL FINANCE BV (オランダ) - floating - 2079/12/31	63,526	Volkswagen International Finance NV (オランダ) - floating - 永久債	54,705
		Enterprise Products Operating LLC (アメリカ) - floating - 2077/8/16	48,772
		Enterprise Products Operating LLC (アメリカ) - floating - 2077/8/16	43,260
		Orsted A/S (デンマーク) - floating - 2199/12/31	41,003
		Engie SA (フランス) - floating - 永久債	27,697
		NGG Finance PLC (イギリス) - floating - 2073/6/18	27,047

(注 1) 金額は受渡し代金 (経過利子分は含まれておりません)。
(注 2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期	期 末							
区 分	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うちB B 格 以下組入 率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5 年以上	2 年以上	2 年未満
アメリカ	千アメリカ・ドル 4, 425	千アメリカ・ドル 4, 022	千円 559, 688	% 29. 9	% —	% 29. 9	% —	% —
イギリス	千イギリス・ポンド 900	千イギリス・ポンド 868	151, 749	8. 1	—	8. 1	—	—
ユーロ (オランダ)	千ユーロ 1, 500	千ユーロ 1, 335	200, 268	10. 7	—	10. 7	—	—
ユーロ (ルクセンブルク)	千ユーロ 1, 314	千ユーロ 415	62, 332	3. 3	—	3. 3	—	—
ユーロ (フランス)	千ユーロ 2, 600	千ユーロ 2, 221	333, 216	17. 8	—	17. 8	—	—
ユーロ (ドイツ)	千ユーロ 1, 400	千ユーロ 1, 221	183, 290	9. 8	—	9. 8	—	—
ユーロ (イタリア)	千ユーロ 1, 150	千ユーロ 977	146, 639	7. 8	—	7. 8	—	—
ユーロ (その他)	千ユーロ 1, 276	千ユーロ 1, 086	162, 920	8. 7	—	8. 7	—	—
ユーロ (小計)	千ユーロ 9, 240	千ユーロ 7, 257	1, 088, 668	58. 2	—	58. 2	—	—
合 計	—	—	1, 800, 105	96. 2	—	96. 2	—	—

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注 3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注 4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2)外国（外貨建）公社債（銘柄別）

当期末								
区 分		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
アメリカ		Enel SpA	社債券	8.7500	千アメリカ・ドル 493	千アメリカ・ドル 492	68,547	2073/09/24
		Enbridge Inc	社債券	6.2500	1,286	1,189	165,477	2078/03/01
		Transcanada Trust	社債券	5.3000	1,007	874	121,701	2077/03/15
		Transcanada Trust	社債券	5.6250	349	330	46,020	2075/05/20
		Scentre Group Trust 2	社債券	5.1250	500	421	58,694	2080/09/24
		SCENTRE GROUP TRUST 2	社債券	4.7500	790	713	99,245	2080/09/24
		通貨小計		銘柄数 金 額	6銘柄		4,425	4,022
イギリス		NGG Finance PLC	社債券	5.6250	千イギリス・ポンド 900	千イギリス・ポンド 868	151,749	2073/06/18
通貨小計		銘柄数 金 額	1銘柄		900	868	151,749	

ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券マザーファンド

区 分		銘 柄	種 類	年利率	額 面 金 額	評 価 額		償還年月日
						外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
ユーロ (オランダ)		Volkswagen International Finance NV Volkswagen International Finance NV REPSOL INTERNATIONAL FINANCE BV	社債券 社債券 社債券	% 4. 6250 3. 8750 2. 5000	千ユーロ 700 300 500	千ユーロ 640 254 439	千円 96, 043 38, 246 65, 979	永久債 永久債 2079/12/31
国 小 計	銘柄数 金 額	3銘柄			1, 500	1, 335	200, 268	
ユーロ (ルクセンブルク)		Aroundtown SA	社債券	2. 8750	千ユーロ 1, 314	千ユーロ 415	62, 332	永久債
国 小 計	銘柄数 金 額	1銘柄			1, 314	415	62, 332	
ユーロ (フランス)		ELECTRICITE DE FRANCE SA Engie SA TOTAL SE Unibail-Rodamco SE Arkema SA	社債券 社債券 社債券 社債券 社債券	2. 6250 1. 6250 2. 0000 2. 8750 1. 5000	千ユーロ 600 300 800 500 400	千ユーロ 487 279 701 400 353	73, 074 41, 850 105, 193 60, 058 53, 040	永久債 永久債 永久債 永久債 永久債
国 小 計	銘柄数 金 額	5銘柄			2, 600	2, 221	333, 216	
ユーロ (ドイツ)		Bayer AG	社債券	3. 1250	千ユーロ 1, 400	千ユーロ 1, 221	183, 290	2079/11/12
国 小 計	銘柄数 金 額	1銘柄			1, 400	1, 221	183, 290	
ユーロ (イタリア)		Eni SpA Eni SpA	社債券 社債券	3. 3750 2. 0000	千ユーロ 800 350	千ユーロ 677 299	101, 696 44, 943	永久債 永久債
国 小 計	銘柄数 金 額	2銘柄			1, 150	977	146, 639	
ユーロ (その他)		SOUTHERN CO/THE BP Capital Markets PLC	社債券 社債券	1. 8750 3. 6250	千ユーロ 387 889	千ユーロ 306 779	45, 983 116, 937	2081/09/15 永久債
国 小 計	銘柄数 金 額	2銘柄			1, 276	1, 086	162, 920	
通貨小計		14銘柄			9, 240	7, 257	1, 088, 668	
合 計	銘柄数 金 額	21銘柄					1, 800, 105	

(注 1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注 2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年6月9日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	1,800,105	96.2
コール・ローン等、その他	70,336	3.8
投資信託財産総額	1,870,442	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。
(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、6月9日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝139.15円、1イギリス・ポンド＝174.69円、1スウェーデン・クローネ＝12.87円、1ユーロ＝150.00円です。
(注3) 当期末における外貨建純資産（1,869,711千円）の投資信託財産総額（1,870,442千円）に対する比率は、100.0%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年6月9日現在

項 目	当 期 末
(A)資産	1,870,442,330円
コール・ローン等	30,968,743
公社債（評価額）	1,800,105,895
未収利息	39,367,692
(B)負債	—
(C)純資産総額（A－B）	1,870,442,330
元本	1,439,473,166
次期繰越損益金	430,969,164
(D)受益権総口数	1,439,473,166口
1万口当り基準価額（C／D）	12,994円

* 期首における元本額は1,675,695,540円、当作成期間中における追加設定元本額は126,646,263円、同解約元本額は362,868,637円です。
* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：ダイワ世界コーポレート・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）1,439,473,166円
* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,994円です。

■損益の状況

当期 自2022年6月10日 至2023年6月9日

項 目	当 期
(A)配当等収益	90,633,150円
受取利息	90,747,964
支払利息	△ 114,814
(B)有価証券売買損益	△ 88,254,337
売買益	105,640,581
売買損	△ 193,894,918
(C)その他費用	△ 311,651
(D)当期損益金（A＋B＋C）	2,067,162
(E)前期繰越損益金	490,679,628
(F)解約差損益金	△ 90,131,363
(G)追加信託差損益金	28,353,737
(H)合計（D＋E＋F＋G）	430,969,164
次期繰越損益金（H）	430,969,164

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。